

令和7年度第1回 今治圏域災害医療対策会議 議事概要

- 1 日 時 令和7年8月6日（水）14：55～16：25
- 2 場 所 東予地方局今治支局 4階大会議室
- 3 出席者 委員14名（うち代理出席1名）、説明者2名（うち委員1名）
事務局4名
- 4 傍聴者 0名
- 5 議題及び主な内容

(1) 令和7年今治市林野火災の対応について

今治市防災危機管理課（広瀬課長）から、（資料1）令和7年今治市林野火災の対応についてご報告いただいた。

<質疑応答・主な意見>

- ・（堀委員） マスコミや寄付の対応が大変だったとのことだが、窓口は一元化した方が良いのか。
 - （今治市防災危機管理課） 災害に関するプレス対応は一元化されているが、マスコミは現場の人をつかまえて取材するので、病院でも対応できるようにした方が良い。
- ・（松田委員） 林野火災はどこで発生するか分からず、ケアが必要な児童をいつ避難させたら良いのか判断に困った。リエゾンにも情報共有してもらえる仕組みを整えてほしい。
 - （今治市防災危機管理課） 風向きは、概ね山から海に向かう西風だったが、谷部分では、气象台でも読めないとのことだった。今回、予測が難しい遠方への飛び火も発生しており、状況に応じて早めに対応するしかない。
- ・（堀委員） 医療活動について、市から病院へ支援要請はしたのか。
 - （今治市防災危機管理課） 本部としては、現場から医療従事者への要請はなかったと認識している。
- ・（高月副会長） 避難所について、想定以上に収容が困難であったとの説明だが、指定避難所の数を増やす予定か。

→（今治市防災危機管理課）今のところ避難所の数を増やす計画はない。これまで2 m²/人で試算して収容人数を決めていたが、3.5 m²/人で試算しても1万人程度の余裕がある。指定避難所が全て使えるとの前提になるが、今のところ充足している。

- ・（岡田会長）広い体育館等では、予め区画線で線引きしておかないと、避難所を開設した際に調整ができなくなるので、災害が発生した時のシミュレーションをしておいた方が良い。

ペットの同行避難について、衛生面から、人とペットは分離して生活せざるをえないことを住民は理解しているか。

→（今治市防災危機管理課）逃げ遅れを防ぐために、市としてはペットの同行避難を認めており、避難所にペットスペースを確保することとしている。なお、岡山理科大学のみペットの同伴避難ができるスペースを設けている。

- ・（堀委員）避難所において、緊急時は仕方ないが、間仕切りはしないのか。

→（今治市防災危機管理課）ピーク時は400名近く避難者がいたが、3月末にはほとんどいなくなった。避難が長期化する場合は、間仕切りが必要になると考える。

- ・（今治市防災危機管理課）ボランティアによる炊き出しなど、調理済のものを避難所で配っても良いかとの相談があった際に、衛生上、認めても良いか判断に苦慮している。助言をいただければ、今後の参考としたい。

→（岡田会長）申し出に対して断れないのが実情。保健所として強くお願いしていることは、しっかりと加熱処理すること、いろいろな人が持ってきた差し入れはすぐに配って、配られたものはすぐに食べて、余ったものはすぐに捨てるとのルールにするしかない。

- ・（堀委員）被災者の健康を考えると、現地で作ったもの以外は全て断った方が良いのではないか。

→（岡田会長）大きな災害が発生した場合は、行政が全ての物品を過不足なく供給することが難しいこともあり、一律の取り決めは難しい。炊き出しで作ったものを他の避難所に持っていっても良いかと相談された際には、衛生面で問題があるといけないとの理由でお断りした。

(2) 上島町の福祉避難所及び個別避難計画について

上島町消防本部消防防災課（大石主事）から、（資料 2）上島町の福祉義難所及び個別避難計画についてご報告いただいた。

<質疑応答・主な意見>

- ・（高月副会長）避難行動要支援者が 1,038 人で、5 人に 1 人の割合で支援する計算になるが可能なのか。

また、福祉避難所への避難人数 400 人は受入れ可能なのか。

→（上島町消防本部消防防災課）発災時に家を空けている場合もあり、十分な対応ができるのか、自主防災組織等からも問題提起されている。町としては、防災に興味のある者を防災委員に指名して支援の手助けをしてもらうことを検討している。

また、福祉避難所への避難について、現状では 400 人は可能であるが、現在、国や県が被害想定の見直しを行っており、その結果次第で更なる福祉避難所の設置も必要となる。

- ・（岡田会長）福祉避難所の 400 名を保健センターで受け入れた場合、介護する人手をどのように考えているのか。

→（上島町消防本部消防防災課）実際に開設した経験がなかったため想定ができていなかったが、能登半島に行った者を中心に検討したところ、いろいろと足りないことが分かった。

- ・（松田委員）人工呼吸器等の電源が必要な人はどの位いるのか。そのような人こそ、外に出てきて避難訓練に参加してもらう必要がある。

→（上島町消防本部消防防災課）古い数字しか持ち合わせておらず、現時点は数字が変わっている。

- ・（田中委員）発災時に橋が使えないことを想定した船の利用は考えているのか。

→（上島町消防本部消防防災課）何かあった際に船を貸してもらえよう、地元漁協と応援協定を締結しているほか、車両を乗せるためのカーフェリーが利用できるよう民間フェリー会社や公営フェリー会社とも契約している。

(3) その他

＜質疑応答・主な意見＞

- ・ 新たな質問や意見はなく、議題を終了した。